

庁舎等の照明をLED化に 費用対効果等を考え検討

櫻井立志 議員（公明党）



同志社山手に設置されたソーラーLED街路灯

総務部長 庁舎前の歩道は省エネ効果が大きいLED灯に替えている。その他、中央体育館のトイレに導入している。今後、費用対効果も考え、諸問題の解決を図りながら、検討していきたい。

環境教育の一環として、子ども環境家計簿を作成してはどうか。

保健福祉部長 高齢者が要介護者などに対してボランティア活動を行うことを通して、本人の健康増進、介護予防、生きがいづくりにつながることは認識しているが、従来から無償で活動されていることから、今後、関係機関の意見を聴きながら研究をしていきたい。

今夏、隣接の八幡市に開設される大型ショッピングセンターに伴い、山手幹線の交通渋滞が心配される。市の対策は、経済環境部長 交通渋滞が最小限に留まるように府や八幡市に要望するとともに、大規模小売店舗立地法に基づく意見書を府に提出したい。

高速バスの送迎者用駐車スペースの設置は、建設部長 3月中旬に、暫定的に市有地を利用し、設置を考えている。

円年末年始特別手当廃止を

世のすう勢に照らし廃止

次田典子 議員（無所属ネット）

① 条例に規定のない年末年始の特別手当を即時、尊重する中で廃止したい。

② 時代のすう勢ならなげ去年は支給したのか。職員の時間外勤務手当1万3500円に時間2863円の8時間分を加え、何と1日3万6404円という高額の支給は到底納得できない。市長 今の意見を参考にしている。

③ 携帯電話やPHS基地局は15坪以上は申請が必要なので14・9坪のも



市内各所に設置されている携帯電話電波塔

導すべきではないのか。建設部長 2005年に一度文書を出したきりなので再度徹底する。

子どもたちを事件・事故から守るために八幡市では8年も前から「きょうとCAP」を招いて年2回小中学校の授業でワークショップを実施している。京田辺でも取り組めたいのか。

教育部長 八幡市での取り組みの活用についても十分検討したい。

大住ヶ丘汚水処理場跡地の有効利用と公園の遊具設置を急いでほしい。総務部長 地元要望があれば跡地の空き地部分を高齢者スポーツなどに開放していきたい。遊具は来年度設置する。

高齢者へのバス代半額補助を実現してほしい。保健福祉部長 老人福祉センター利用者以外への補助は考えていない。

松井山手駅ロータリーが狭くなって危ない。拡張すべきだ。建設部長 敷地がないので困難だ。

国民健康保険 個人カード型に

平成23年4月から実施

河田美穂 議員（公明党）

① 国民健康保険証をカード型にして、家族一人ひとりが持てるようにするべきである。

市民部長 平成23年4月から、家族一人ひとりがそれぞれ一枚ずつ持てる個人用カード型の国民健康保険証に変更する。

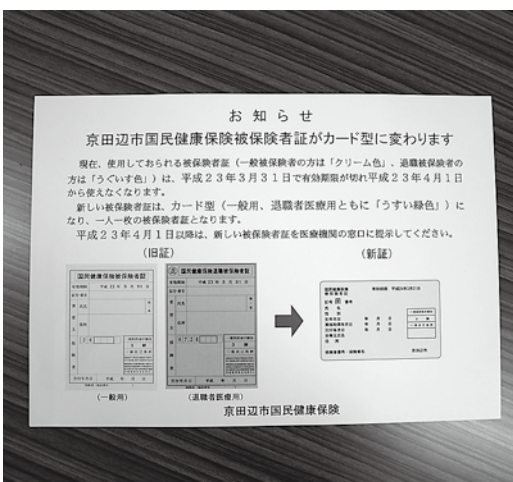
市庁舎入り口に設置された、タッチパネル式案内板の設置場所と使用方法の周知徹底をすべき。総務部長 市広報、ホ

② 国民健康保険証をカード型にするので一定の周知は図れている。設置場所が適切かどうかということも含め、当面の利用状況をみて考えたい。

③ 3人乗り自転車への助成やレンタル制度を導入してはどうか。

保健福祉部長 本市の利用実態をみながら、さらに研究する。また、京都府警が持つ3人乗り自転車などを活用して、ぜひ試乗会をやりたい。

④ 低所得世帯の受験生を対象にした、市独自の奨学金制度を創設すべき。今後研究したい。



国民健康保険証個人カードのお知らせ

⑤ 小学生に救急救命の講習を行い、「子ども救命士認定証」を付与してはどうか。

消防長 小学生向けの救命講習プログラムは、要配慮者避難支援計画の中で具体的にモデルケースとしての取り組みができるのか協議したい。

⑦ 近鉄興戸駅に「待合室」を設置するようはたらかけてはどうか。

安心まちづくり室長 近鉄としては、現在興戸駅に設置する考えはないと聞いている。

⑧ JR同志社前駅付近から、田辺中学校までの通学路が大変危険である。改修・改善すべき。

市長 安全・安心というのは私の基本姿勢なので、十分考慮し、施策も考えていきたい。

生活道路100円橋は無料に 料金負担廃止は難しい

塩貝建夫 議員（共産党）



100円橋区間はバイク、自転車も通行できる道路

① 京奈和自動車道の「通称100円橋」は生活道路である。100円負担廃止をネクスコ西日本、京都府、国土交通省など関係機関にはたらかかけを。

建設部長 「通称100円橋」は、一般道路や生活道路ではなく、高速自動車道とネットワークする一般有料道路であり、通行料金の負担廃止は難しいと考えている。

② 一休寺周辺の開発が進み、西側はすべて住宅地となった。NPO法人が「一休寺裏山を開発から守る会」を立ち上げ、ナショナルトラスト・10億円募金運動をスタート

させた。市民の運動と行政が共同して緑と景観を保全することは市の責務と考える。市長自ら景観保全のため、ナショナルトラスト運動を支援する意思を表明すべきと考えるがどうか。

市長 NPO法人一休寺の主体的な発意に基づき、展開されている運動であることから、市としては、好意をもって見守っていきたくと考えている。

③ バリアフリー改修助成事業の実績と評価を問う。また、経済波及効果を広げる上で、住宅改修助成制度（平成14、15年度）を実施すべきと考えるがどうか。

市長 「基本水量」にかかると、見直しについては議論することもある。

④ 水道料金引き下げについて、今後も「カラ水」未使用水「負担を見直すように、京都府にはたらかかけよ。

市長 「カラ水」問題は「基本水量」にかかると、見直しについては議論することもある。